

介護機器・福祉機器の開発

～自立を支援する～

我が国は急速な高齢化が進むなかで、高齢者自身の自立を支援する介護機器や福祉機器の開発が求められています。今回は杖歩行訓練装置の開発や装着型リハビリ機器の開発など、メカトロニクス要素を踏まえて、東京電機大学の3名の講師にご講演をお願いします。

講演後には、講師の先生や大学スタッフと参加者同士が交流をもつための懇親の場もご用意しております。つきましては、日頃より、介護機器・福祉機器の開発や技術、産学連携に関心のある貴社へ、ビジネスへの一助となりますよう、ご案内申し上げます。

◆ 講演 (1号館2階 1204 セミナー室)

◇ 「高齢社会における自立・介護機器」

講師 土肥 健純 工学部機械工学科 先端機械コース 教授

講演概要：我が国は急速な勢いで高齢化が進み、その手本となる国はなく、我が国が独自で切り開く必要があります。それには、まず高齢者自身の自立を支援する機器の開発が必要で、次に介護機器の開発が重要となります。その介護機器も老老介護を念頭に開発する必要があります。

◇ 「片麻痺患者が安全に一人で杖歩行練習ができる歩行補助器の開発」

講師 井上 淳 未来科学部ロボット・メカトロニクス学科 助教

講演概要：日本の脳卒中発症者数は毎年27万人、有病者数は270万人とされています。その後遺症で一番多いのが片麻痺であり、患者のほとんどが杖歩行の獲得を目指しています。入院中のリハ室における訓練の時間は限られているため、患者が一人で安全に杖歩行訓練を出来る装置を開発しました。

◇ 「福祉機器・リハビリ機器への応用を目指したEAMブレーキデバイスの開発」

講師 三井 和幸 工学部機械工学科 先端機械コース 教授

講演概要：電圧で摩擦の調節が可能な機能性材料EAM（電氣的吸引材料）を開発し、これを用いた電圧で制動力調節が可能なブレーキデバイスを開発しました。このデバイスのリハビリ機器への応用として、電圧のみで負荷の調整可能な装着型上肢トレーニング装置を試作しました。講演では、これらデバイスについてご紹介します。

◆ 交流会 (1号館1階 100周年ホール)

参加者全員による立食形式の懇親会

日時：平成27年 6月25日(木) 13:30～18:00

会場：東京電機大学(東京千住キャンパス)

参加費：無料(交流会含む)

締切り：平成27年 6月22日(月)

主催：東京電機大学 / リそな中小企業振興財団 / 埼玉りそな産業経済振興財団

～ 開催要領 ～

1. 日 時 平成27年6月25日(木) 13:30～18:00 (受付開始13:00～)
2. 会 場 東京電機大学 東京千住キャンパス 1号館2階 1204セミナー室
所在地: 〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番 ※会場詳細は会場案内をご覧ください
TEL: 03-5284-5225 (産官学交流センター)
3. 主な次第
 - (1) 主催者挨拶・次第説明・紹介 13:30～
○東京電機大学における産学連携の紹介 13:40～
研究推進社会連携センター 研究コーディネーター 亀井 隆夫 氏
 - (2) 講演会 13:50～16:30
 - ◇講演テーマ①「高齢社会における自立・介護機器」 13:50～14:40
講 師 東京電機大学 工学部機械工学科 先端機械コース 教授 土肥 健純 氏
《 休憩 10分 》
 - ◇講演テーマ②「片麻痺患者が安全に一人で杖歩行練習ができる歩行補助器の開発」 14:50～15:40
講 師 東京電機大学 未来科学部ロボット・メカトロニクス学科 助教 井上 淳 氏
 - ◇講演テーマ③「福祉機器・リハビリ機器への応用を目指したEAMブレキデバイスの開発」 15:40～16:30
講 師 東京電機大学 工学部機械工学科 先端機械コース 教授 三井 和幸 氏
 - (3) 交流会 参加者全員による懇親会 16:45～18:00
★懇親会では飲食を伴いますが、お車でお越しの方にはアルコール類の提供を致しませんのでご了承ください。
4. 募集対象 中堅・中小企業製造業の経営者および技術担当者の方を優先します。
5. 定 員 80名程度(先着順)
6. 申込方法 参加申込書をE-mail (staff@resona-fdn.or.jp) 又はFAX (03-3444-9546) にてお送り下さい。
★出来るだけ多くの企業様をご参加いただけますよう、お申込は1社につき2名様までとさせていただきます。

～ 講師ご紹介 ～ (講演順)

■ 土肥 健純 (どひ たけよし) 氏

略 歴: 1977 東京大学大学院 博士課程 修了 工学博士
1981 東京大学 工学部精密機械工学科 助教授
1988 同教授
2012 東京電機大学 工学部機械工学科 先端機械コース 教授 現在に至る。

専門分野: 医療工学・福祉工学

■ 井上 淳 (いのうえ じゅん) 氏

略 歴: 2010 千葉大学大学院 工学研究科 人工システム科学専攻 修士課程修了
2013 早稲田大学大学院 先進理工学研究科 生命理工学専攻 博士後期課程修了 博士(工学)
同年 東京電機大学 未来科学部ロボット・メカトロニクス学科 助教 現在に至る。

専門分野: 福祉工学・情報工学

■ 三井 和幸 (みつい かずゆき) 氏

略 歴: 1988 東京電機大学工学部精密機械工学科 (現 機械工学科先端機械コース) 助手
1989 東京電機大学 工学博士
1993 同 助教授
2002 同 教授に就任 現在に至る。

専門分野: 医用精密工学・生体計測・機能性材料・システム工学

参加申込書 (東京電機大学 6月25日開催)

本申込書を E-mail (staff@resona-fdn.or.jp) 又は FAX (FAX 03-3444-9546) にてお送りください。
※太枠内の項目は、会当日に有意義な交流ができますよう参加者名簿として適宜編集し当日出席者の皆様へ配布します。
※個人情報については、主催者が開催する各種事業のご案内以外には利用致しません。

公益財団法人 リそな中小企業振興財団 行

締切日：6月22日(月) ※但し定員になり次第締切ります

(フリガナ)			
事業所名 (貴社名)			
参加者 (2名様まで)	ご担当部署名/お役職名等	お名前(フリガナ)	
		●交流会(参加/不参加)どちらかに○して下さい	
	ご担当部署名/お役職名等	お名前(フリガナ)	
		●交流会(参加/不参加)どちらかに○して下さい	
ご連絡先	所在地 〒 —	(支社・工場名等)	
	TEL	FAX	
	e-mail (info mail)		
貴社 URL	http://		
事業内容			
所属企業	代表者お役職/お名前	従業員数 / 人	資本金 / 万円
	所在地 〒 —		
本社住所	代表 TEL		
	FAX		
大学と連携を希望する内容 (該当にレ)	<input type="checkbox"/> 技術相談をしたい (具体的に… <input type="checkbox"/> 技術指導を受けたい (具体的に… <input type="checkbox"/> 共同研究を希望する (具体的に…		
今回関心があるテーマ (該当にレ)	<input type="checkbox"/> 土肥先生「高齢社会における自立・介護機器」 <input type="checkbox"/> 井上先生「片麻痺患者が完全に一人で杖歩行練習ができる歩行補助器の開発」 <input type="checkbox"/> 三井先生「福祉機器・リハビリ機器への応用を目指した EAM ブレーキデバイスの開発」		

※本書式 (Word) は当財団ホームページ (http://www.resona-fdn.or.jp) からダウンロードできます。

※本ご案内は、過去に当財団事業にご参加いただいた方、展示会等への出展により社名(個人名)を公表された方、イベント等でご挨拶・名刺交換させていただいた法人・個人の皆様にお送りしております。

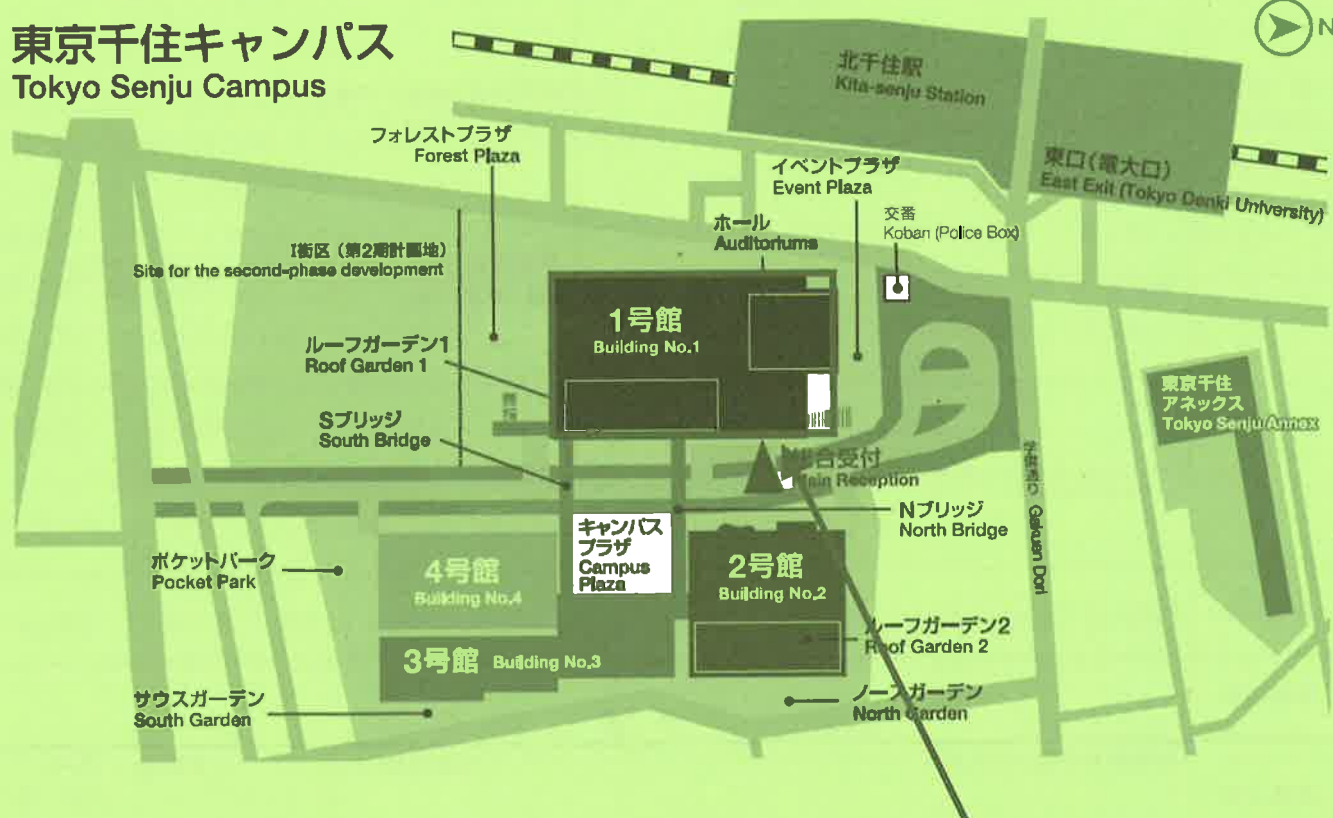
会場案内

《 会 場 》 東京電機大学 東京千住キャンパス 1号館 2階 1204 セミナー室
受付開始 13:00~

所在地 〒120-8551 東京都足立区千住旭町5番

《大学連絡先》 TEL : 03-5284-5225 (産官学交流センター)

東京千住キャンパス Tokyo Senju Campus



会場：1号館2階1204セミナー室

【交通案内】

JR・東武スカイツリーライン(東武伊勢崎線—東京メトロ半蔵門線乗入)・
千代田線・日比谷線・つくばエクスプレス「北千住」駅、東口(電大口)徒歩1分
京成本線「京成関屋」駅より徒歩7分

公益財団法人 リそな中小企業振興財団 事務局
〒141-0021 東京都品川区上大崎3-2-1 目黒センタービル4F
TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546
<http://www.resona-fdn.or.jp> e-mail staff@resona-fdn.or.jp